コミュニケーションペーパー（COMIPA）

おやま～る

12号

2022年
4月

おやま～るを利用する方々へ

小山市市民活動センターは社会貢献活動をしている市民活動団体を支援する拠点施設です。市民活動団体に限らず誰でも利用できます。
是非色々な利用の仕方をしてくださいね！

おやま～るの利用の仕方、役割を簡単に紹介！

2021年度にセンターを分かりやすく説明した冊子「おやま～るのトリセツ」と動画「おやま～るPR動画」を作成しました。トリセツはセンターで配布、ＰＲ動画はYoutubeでご覧いただけます！

↑ ↑ Youtube ↑ ↑
おやま～るチャンネル

利用登録者・団体全体会　ーより良いセンターにするためにー

2021年度の総括と2022年度の動きについて共有します。また、市役所が行った小山市市民活動センターの満足度調査の結果を含めた利用者からの事前意見を材料により小山市が活気づくための小山市市民活動センターの役割を考え、より良いセンターにするための意見交換をします。是非、一緒に考えていきましょう！
※事前意見はメールまたは多目的室に置いているご意見BOXにてお寄せください。（締め切り 5/15）

日時：5/29（日）10:00～12:00　　定員：40名（申込必須）
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

団体の登録更新に関するお願い（重要）

小山市市民活動センターでは実際に活動している団体を確認し、適切な支援に繋げていくために「登録更新」を2年に1回行っています。登録団体は下記方法のいずれかで登録更新できます。よろしくお願いします。

- 登録更新のハガキに記載後、ポストに投函
- 登録更新の案内メールに返信
- おやま～るに直接来館

退任のご挨拶

市民活動で大切なことの中に、人材の育成と新陳代謝をはかることがあると思っております。この２年間、市民活動センターのセンター長として、市民活動の啓発や利用者の平等性・利便性をはかることに尽力してまいりました。しかし、私事ながらすでに古稀を過ぎております。後進にバトンタッチをする時期が来たと感じ、この３月末日をもってセンター長を辞めさせていただきます。「おやま～る」に勤務したことにより、多くの素晴らしい方々にお会いすることができました。そのことは私の晩年の大きな宝物となっております。みなさまのご厚情に感謝申し上げますとともに、若者を中心とした「新生おやま～る」へのご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

2022年3月末日　小山市市民活動センター　センター長　結城史隆

コラム
我逢人

県北の大田原市に社会貢献活動で活躍している若者がいます。濱野将行氏（３０歳）。新聞でしばしば取り上げられているので、ご存じのかたも多いと思いますが、一般社団法人「えんがお」の代表理事です。彼は現在、年間延べ１０００人以上の若者を巻き込み、６軒の空き家を活用して、高齢者向けサロン、子ども向けスペース、障がい者向けグループホームを運営しています。

彼は大学生の時から積極的にセミナーに参加し、社会課題に向き合ってきました。卒業後、内閣府の調査結果を見て衝撃を受けます。「高齢者の約３０％がつながりがない」「独居高齢者の多くが生活の困りごとを頼む人がいない」「独居高齢者の十人に一人が会話頻度週に一回以下」

彼は仕事を辞めて高齢者のため生活支援事業をはじめました。すると、７０歳代の女性から「ぎっくり腰で急に動けなくなった。行政の制度を使うまでには申請や手続きで一ヶ月かかると言われた。」と、連絡がきました。そこで、一ヶ月間、ゴミ捨てや買い物などのお手伝いをしました。また、「電球が切れたけど変えられないので暗いまま過ごしている。」「とにかく話し相手がほしい。ずっと家に寝っ転がっている。」という相談もきました。

これらの声を事業化していきます。「相談、送迎、雪かき、ラジオ修理」などは無料、「電球交換、ゴミ出し、買い物代行」などは５００円、「スマホサポート、枝の剪定、お墓掃除」などは１０００円というような一覧表を作ります。彼は「何をやるか」よりも「どんな想いに向き合うか」を大切にしました。「どうしていいかわからない」「諦めていた」「頼みづらい」「ただ人と話したい」「寂しい」・・・という高齢者の想いです。

これが出発点となって、世代間交流の場や地域開放型の障がい者施設などに発展していったのです。

現在のさまざまな社会課題の表出の根本的源流には「人とのつながりの希薄化」があると濱野氏は指摘します。「高齢者の孤立」は解決できないと言います。そして、「ごちゃまぜのまちづくり」という概念を提唱しています。

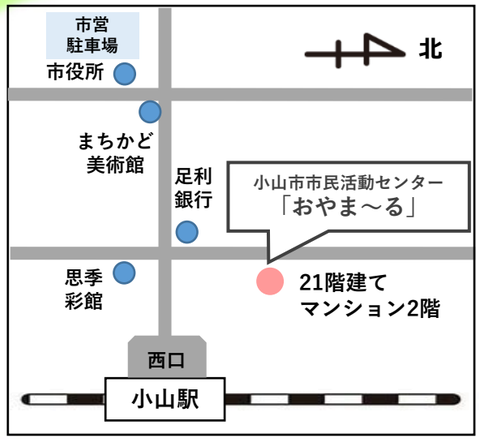
そして素晴らしいのは、毎年新しい事業に挑戦し、常に進化を重ねていることです。ご興味のある方は、最近彼が出版した著書『ごちゃまぜで社会は変えられる』をぜひお読みください。

前回の私のコラムに対して、ある団体から世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数のことが大切であるというものきました。内容が誤解を与えたことを、お詫び申し上げます。

コラムの主旨は、世間に喧伝されている数値やランキングをそのまま鵜呑みにせずに、その数値をうみだす背景を知り、自分たちで考えることが大切であるというものです。というのも、濱野氏の例でも分かるように、市民活動や社会貢献活動にはマニュアルはなく、自主的・自律的に思考をめぐらす必要があるからです。

世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数をとりあげたのは、その指数選択の非専門性、自前の調査機関を持たない脆弱性など、専門家の間でも疑問視されているからです。経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）や世界銀行のジェンダー指標のほうを高く評価する専門家は多くいます。

これからの地域社会を豊かなものにしていくには、「つながり」がキーワードになるのは明らかです。そのためには、人々の間の違いを認め合い、そのうえで尊重し合うことが不可欠です。他者をおもいやり、弱者をいたわる、寛容で包摂力のある共生社会になることを願っています。（センター長　結城史隆）



小山市市民活動センター
「おやま～る」
（指定管理団体：ゆめ評定）

〒323-0025
栃木県小山市城山町3-7-5
城山・サクラ・コモンビル2階

Tel: 0285-20-5562
Mail: info@oyamaru.net
Web: https://oyamaru.net

開館時間　9：00～21：00
休館日　年末年始（12/29-1/3）

出会いと別れの季節ですね。
皆さんにも素敵な出会いがありますように！

小山市市民活動センターの4月、5月の催事

NPOレベルアップセミナー

「団体の立ち上げや仲間集め、資金の確保、事務や会計、活動の伝え方など」をテーマに、学び、考え、自身と団体のレベルを上げましょう。今回は「伝わるデザイン」と「NPOと資金」について学びます！

〇伝わるデザイン
日時：4/25（月）19:00～21:00　　講　師：松村笑子（フリーランスデザイナー）
内容：チラシやパンフレットを作る際のポイントを実践を交えて学びます

〇NPOと資金
日時：5/18（水）13:30～15:30　　講　師：古河大輔（小山市市民活動センター）
内容：助成金や補助金の獲得を「小山市市民活動推進事業補助金」を例に学びます

定員：10名(各回)（申込必須）　　参加費：各回500円
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

オンラインコミュニケーションツール（Zoom）の使い方を一緒に学ぼう

初級編は初めて使う人向けに対面で学びます。ZOOM部屋では遠隔で実践的にZoomの使い方を学べます。

○初級編（Zoomをはじめて使用する方）
日時：4/8（金）13:30～15:00　　講　師：藤本尚彦（小山市市民活動センター）
定員：各回6名程度（申込必須・先着順）　　参加費：各回300円（資料代）
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
内容：Zoomを使って会議に参加できるようになります。
※ノートPC（カメラ、マイク搭載）、スマホ、タブレットをご持参ください

○おやま～るZOOM部屋（Zoomを繋げることができる方）
日時：毎月第一月曜日、第三日曜日の13:30～14:00（年末年始は除く）
場所：Zoom会場（ミーティングID ： 986 4069 0168、　パスコード ： 123123）

ボランティアコーディネーション検定試験3級対策講座

ボランティアコーディネーション力検定3級試験に合格するための対策講座を実施します！
日時：5/28（土）9:30～12:30　　講　師：結城史隆（小山市市民活動センター）
定員：10名　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る　研修室　　参加費：2420円（テキスト代）

SNSはじめの一歩相談会　～安心のWebデビュー～

SNSについての基礎知識をお伝えします。SNSを使うことが不安な人にお勧めの講座です。
日時：4/10（日）10:00～11:30　　講　師：宮岸誠（小山市市民活動センター）
定員：4団体（各団体2名まで）（申込必須）　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る 研修室　　参加費：各回300円（資料代）

SDGsを深掘りするセミナー

SDGsについて少しずつ深掘りしていくセミナー最終弾！
日時：5/22（日）13:30～15:00　　講　師：結城史隆（小山市市民活動センター）
場所：おやま～る　研修室　　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

2022年度の小山市市民活動保険に関するお知らせ

2022年度の小山市市民活動保険の申込みを受付けています。
2022年度の保険は5月から適用となります。4月中を目処に申請してください。
★2022年度小山市市民活動保険申込みのための必要書類
●市民活動保険申請申込書（窓口またはHPから入手）
●保険適用申請される方の名簿
●2022年度の活動計画

★2021年度小山市市民活動保険申込みされた方は下記報告義務があります。
●2021年度分で提出された「年間計画表」にある催事ごとの活動実績報告
※計画になかった催事の実績も追加記入してください。

申請期間

2022年4月1日～

申請方法

①窓口に提出する
②メールで提出する

info@oyamaru.net

～さくらんぼ小山会～

インタビューした方：山本緑さん・南部裕子さん

「さくらんぼ小山会」は、双子や三つ子を育てる親と子ども達が交流をするサークルです。子どもたちを遊ばせながら、親たちはいろいろ話をシェアし合っています。育児の悩みはもちろん、双子や三つ子を出産する予定の妊婦さんたちの悩みや不安な話も共有し合い、共感し合える場になっています。

多胎児育児ならではの悩みや不安は、経験者だからこそ理解し合えることができ、情報不足の多胎児育児の心の支えとなっています。インタビューをした南部さんと山本さんは、双子の男の子のお母さんです。「双子ならではの大変さはあるが、その分の喜びと可愛さがたくさんあります。せっかく授かったスペシャルなこの育児を楽しみたい。」と語っておられました。

さくらんぼ小山会は、2014年に開設されて以来100組を超える親子が参加してきました。今後は、先輩ママたちがピアサポーターになり、支えていく側が増えていけるような活動も行っていくそうです。父親や祖父母つきそいも大歓迎です。それ以外も託児ボランティアも随時募集していますので、興味のある方はぜひ参加してみてください。

多胎児と保護者向けの体操イベントの様子

～トッコ演劇工房～

インタビューした方：高梨　辰也さん

今回紹介するのは、演劇プロデュースユニット「トッコ演劇工房」です。

代表である高梨さんは、ずっと続けてきた演劇を大学卒業後もやり続けたいという思いで、２０１０年にトッコ演劇工房を設立しました。最初は演劇の場を求めていた高梨さんですが、活動を行っていくうちに演劇を行うことで人との繋がりが広がっていくことの面白さに気づきました。今では「演劇を通して人との輪を広げる」ということを軸に活動を行っています。

「三日で作る演劇ワークショップ」は大人気のイベントです。このイベントは毎年ゴールデンウィークや夏休みなどに行われています。「三日間だけなら！」といろんなジャンルの人達が全国から集まり、三日間で一つの作品を作りあげます。

普段は高校の英語教師である高梨さん。教え子がトッコ演劇工房のイベントに参加することも多いそうです。子どもたちには、演劇を通じていろんな職業の人と出会い、発想力や表現力を養ってほしいという願いがあるそうです。高梨さんは「一番大切なことは、ワクワクすること。いろんな人が自分のワクワクすることに出会ってほしい。トッコ演劇工房がそんな場の一つになりたい。」と語られていました。

３日でつくる演劇ワークショップの様子

旅する演劇ワークショップ in YOKOHAMA
栃木県外にも活動を広げています。

当内容は、小山市市民活動センター「おやま～る」のWebサイトにも掲載しています。
ここには書いていない魅力も掲載していますので、是非ご覧ください！
https://oyamaru.net/dantaishoukai